

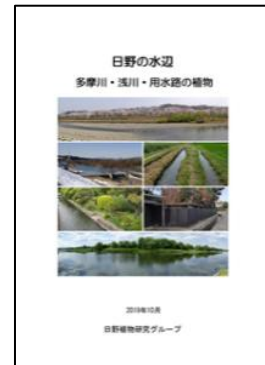
団体名	日野植物研究グループ
代表者名	～2024年(令和6年) 長岡 聡子 2025年(令和7年)～ 中西 由美子
連絡方法	E-mail:hino.midowaku@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	市内に生育する野生の植物を調べている植物好きの仲間たちの集まりです。市内には台地斜面、多摩丘陵に残るコナラ林、多摩川や浅川の水辺や湿地、河畔林、水田、総延長100kmを超える用水路などに多種多様な植物種が生育しています。それらの種が先輩たちによって語り継がれ、守られてきたことに敬意を表しながら、豊かな自然を残すために活動しています。
設立年	2014年
主な活動内容	<p>1. 日野市植物目録の刊行 本グループでは2014年に『日野市重要自然地域の植物相』、2019年に『日野の水辺 多摩川・浅川の植物』を調査に基づき刊行した。本年は3冊目の集大成として『日野市高等植物目録 2024』を作成し、仕上げることを決め2024年 10月完成。</p> <p>2. 多摩川と浅川合流点の堤防草刈りについて 国土交通省京浜河川事務所との現場立ち合いを実施 年2回(4月と8月)、堤防上に生育する希少種(ヒメシオン、レンリソウ、ツルフジバカマ、アマドコロ、スズサイコなど)の保全に向けて保護柵や保護用の杭などを設置して保全に努めた。</p> <p>3. カワセミハウス企画展『日野の植物たち』に協力 11月2～4日実施。日野市内の植物写真、動画(成島忠之作成)に加えて特別展示として、『果実と種子』について実際に採集し、どのように散布されるかなどを展示。黒川清流公園の植物観察実施(講師:中西由美子)。</p> <p>4. 植物観察会 植物への知識、違いを見極める力、どのような地域に生育する植物か、などを現地で学ぶために観察会を開く。</p>
主なフィールド	日野市内全域
活動日	一か月に一度打ち合わせをして進捗状況を見ながら方針を決め、進めて来た
会員数	18名
募集	2024年度は目録刊行のために観察会が少なかったが、観察会時など随時
その他	自然に興味があり、野生植物に興味のある方ぜひご参加ください
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()

自由記載

2019年刊行した
『日野の水辺 多摩川・浅川の植物』



『日野市高等植物目録 2024』
表紙 2024年10月刊行
グループが2014年から始めた
市内全域の植物調査、先輩方が
調べた文献、各地の博物館に残
る標本も調べた結果をまとめま
した。
牧野富太郎氏が市内の河原を歩
き、カワラハハコ、カワラノギクの
標本を1930年代に残したこと
も知ることができます。
市内 1,527 種について、和名・
学名・文献・外来種と在来種の区
分・希少種の区分・標本の有無・
グループの調査結果などが1~2
行でまとめられています。
市内に生育する植物の宝箱で
す。市内図書館で見られます。
手元に置いてじっくりご覧になり
たい方は1冊 1,000 円で頒布し
ています。連絡方法の欄にメール
してください。



河原の調査風景



京浜河川事務所立ち合い
で保護策を設置。
2024. 4. 28